

樹 姉 ば よ う

No.147
2017.1



明照学園理事長

野口 秀樹



明けましておめでとうございます。

健やかに新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。

本年もどうぞ宜しくお願いします。

昨年は十二月に入って嬉しいニュースが沢山入りました。先ずは本校卒業生の木部真理さん(21)が「2017ミス・ユニバース・ジャパン群馬大会」でグラプリに輝いたのです。群馬代表として日本大会に出場します(これは各新聞で報道されました)。在学中は、校内の重要な学校行事(入学式、卒業式、緑蔭祭、花祭り)の時に献灯献華献香をする係をしておりました。

続いては高校三年生女子の角田梨紗さんが「高校生JOMO小説」優秀賞上位三傑に入賞し、上毛新聞で大きく取り上げられました。クラスメイトになった

短期留学生から日本語の表現の豊かさを教えられる話です。

タイトルは「たらたら」。

最後は年末に公開されたV6の岡田准一さん主演の『海賊と呼ばれた男』。こちらも本校三年生女子の篠崎愛莉さんが、この映画のキャッチコピーコンテストに応募して大賞を受賞したことです。読売新聞日曜日に大きく掲載されておりました。大賞の彼女のキャッチコピーは、
「日本人よ胸を張れ。
この男と同じ血が流れていることに。」

受賞者がこの本を読んだ感想は、

「ただただ感動した。」

真っ直ぐで熱い男の一生が私の中に流れ込んできた気がした。彼が愛し導いたこの国。日本にうまれてよかった。」

『海賊と呼ばれた男』は百田直樹さんの小説で、石油王と呼ばれた出光佐三氏の話ですが、読んだ方ならコピーの確性がお解りになると思います。

今年も引き続き、生徒達が輝く一年にしていきたいと思います。

合掌

正月は政月

樹徳高等学校副校長

池田 量



新年あけましておめでとうございます。

一〇八の除夜の鐘を聞いて、平成二十九年を健やかにお迎えになられたことと推察いたします。

ここ数年、『樹妙だより』の一月号に拙文を載せていただいておりますが、今回も、原稿の依頼を受けて、歳月の過ぎ去ることの早さに驚かずにはいられませんでした。年齢を重ねると言いますが、まさに然りと実感しています。

去年は、正月の変遷について書かせていただきましたので、今年は、正月に付随する物事について少々調べてみました。私が持っている正月関連の知識のほとんどは、耳から入ってきたものですが、それらに、誤りや過不足が多数あった

ことが解り、自分の不勉強さを忤怩たるものがあります。

これから、いくつかの物事について調べた結果を紹介いたしますが、地方による違いや諸説が存在するということを前提にして、お読みください。

◆「正月」「元日」

「元旦」―正月は一年の最初の月のこと。室町時代の辞書に「政治に専念した秦の始皇帝の生まれた月（始皇帝は紀元前五九九年の一月に趙の国で生まれたとされている）を政月と言っていたが、この政月が正月になった、と記されていて、それが最も有力な説とされている。元日は、一年の最初の日のことで、元旦は、元日の朝のこと。元旦の「旦」は、太陽が地平線から出てくる様子から作られた象形文字である。

◆「初詣」「破魔矢」

初詣とは、年が明けてから初めて寺社に参拝すること。氏神様（集落や地域を守る最も身近な神様）を祀る神社仏閣にお参りして、一年の無事と平安を祈るのが本来である。破魔矢は破魔弓につがえる矢で、破魔

とは、文字通り「魔」を「破」ということである。正月の縁起物で、鴨居など人の頭より高い所に飾る。



◆「門松」―松を、神を

「待つ（松）」と解釈して飾り付けるものである。松は、竹・梅とともに長寿の象徴とされ、「年神様（一年の幸福をもたらす神様）」は「門松」を目印にして訪れると言われる。十二月二十八日か、十二月三十日に門柱に飾るのが慣例となっているが、これは、二十九日の「九」が「苦」につながり、三十一日が「一夜飾り（年神様への敬意の乏しさを示し、また、葬儀を連想させるため禁忌とされている）」になってしまいうからである。取り外しは七日頃で、門松のある期間を松の内

（大正月）と呼び、一月十五日、またはその前後を含めて（小正月）と呼ぶ。

◆「鏡餅」―神様が召し

上がる餅で、そこに年神様が宿り、福が来るようにと願って供えられる。形状が銅鏡（銅板を磨いて作った昔の鏡）に似ていることから「鏡餅」という名称になった。二個重ねるのは、太陽と月を意味しているという説がある。

◆「初夢」―新年に初めて見る夢のこと。一般的には元日の夜に見る夢を指し、その夢に出てきた事柄によって新年の吉凶を占う。「一富士、二鷹、三茄子」という序列で、富士山、鷹、茄子が夢に出てくると縁起が良いと言われる。無事（富士）に、高（鷹）く、事を成す（茄子）とする説や徳川家康の出身地三河（現在の愛知県）の名物を並べたものだという説もある。

◆「書き初め」―一月二日に、古来の名言、座右の銘、一年の目標などを毛筆で書く行事。

◆「七草粥」―一月七日に食べる粥で、春の七草（セリ・ナズナ・ゴギョ

ウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ）を入れて作る。邪気を払い、万病を防ぐという。

◆「鏡開き」―正月にお供えした鏡餅を下げて、吸いものや汁粉にして食べる行事。一月十一日に行われることが多い。本校においても校内の恒例行事で、今年の予定では、一月十一日

が書き初め大会、十二日が鏡開きとなっている。

今回は、以上の八項目を紹介しましたが、いかがだったでしょうか。この他にも、どんど焼き・注連飾り・お節料理・雑煮・七福神など、正月関連の物事はたくさんあります。休みを利用して調べてみてはいかがでしょうか。なかなか楽しいものです。

最後になりますが、今年が、皆様にとって実り多きものになるよう祈念申し上げます。



今月の法語

できるとき

できること できるだけ

正月に思いつくこと

昨今では、大晦日は人気ミュージシャンやアイドルのコンサートでカウントダウンをするのが流行りだそう。ただでさえ盛り上がっているところで、新年へのカウントダウンを、好きなアイドルたちと、また同じ気持ちでいる他の大勢の人たちと行える、というのは、さぞかし気分が高揚するものだろう。そして、そのまま、年の初めを、コンサートを聴きながら迎えられるわけである。彼らは、帰りは何時頃になるのだろうか。

「余が大臣の一行と共にベルリンに帰りしは、あたかも是れ新年の旦なりき。停車場に別を告げて、我家をさして車を駆かりつ。ここにては今も除夜に眠らず、元旦に眠るが習なれば、万戸寂然たり。寒さは強く、路上の雪は稜角ある氷片となりて、晴れた

る日に映じ、きらきらと輝けり。」森鷗外の小説『舞姫』の一節だ。大晦日はみな夜更かしし、元旦の朝は寝静まって静かだ、とある。これはドイツでのことだが、日本と変わりはなく、帯に、コンサートを終えた若者たちは、興奮冷めやらぬハイテンションで帰宅の途につくのだろうか。

そんな若者（おそらく）たちの良い気分を水に差すわけだが、「除夜の鐘」はどうした？あれを聞かずに年を越してしまったのか？

除夜の鐘は「人の心にある煩悩を祓うため」と言われている。人には百八つの煩悩があり、それを祓うため、除夜の鐘の回数は、百八回と決められている。ここまででは、誰でも知っているだろう。

鐘のつき方にもきまりがあり、百七回目までは前年のうちに、最後の一回を年が明けてからつく（深夜〇時に最後の一回を

つく）のが正式なつき方だそうだが、これも知っていただろうか。

もつとも、百八という数字は、時代や地域、宗派によっても異なるそうで、

「三つ」というものもある、ば、「八万四千」などという宗派もあるそうだ。また、百八はただ単に「大きな数」を指すもので、数字は特定しない、との見方もある。わりといい加減なものであるが、要は、「人間には、非常にたくさん煩悩がある」ということだ。

とりあえず、煩悩を百八として、その数え方の主なものは二種類あるそうだ。まず、その一、

「煩悩を司る世界には五つの分類があり、まず三界と呼ばれる「欲界」に三十二、「色界」に二十八、「無色界」に二十八の計八十八の煩悩がある。次に「修惑」に十あるとされ、先の八十八と合わせて、九十八随眠と呼ぶ。そこに「十纏」の十を足して、一般的に言われる『百八の煩悩』となる。」

その二、
「眼・耳・鼻・舌・身・意の六根にそれぞれ六つの煩悩があつて三六、これらをそれぞれ過去・未来・現在に配して計百八とするも

の。」

こちらの方が、何となく理解しやすい。また別な考え方として

「人の五感に『意識』を加えた『六根』を、それぞれ『好（いい）・悪（わるい）・平（どちらでもない）』、さらに『浄（きれい）・染（きたない）』、『前世・今世・来世』の要素があり、六×三×二×三で百八になる」というものもあるようだ。これは後者の見方をわかりやすくしたものだろう。

煩悩は

百八減って

今朝の春

夏目漱石の作だという。「今朝の春」は、元日の朝のこ

とである。

「除夜の鐘を聞き、すっかり煩悩を追い出きつて、すがすがしい気持ちで元旦を迎えたことだろう。ただ人はすぐに煩悩にまみれてしまふから、「今朝の春」の一瞬だけが煩悩に苛まれないうですむ時かもしれない。」この解釈からも、やはり除夜の鐘を聞く時間は大切なのだと感じる。除夜の鐘を聞き逃した諸君は、もう一度仕切り直して、煩悩を祓ってから新しい年に臨んではどうか。それから、年末年始くらい家族と過ごす。元旦から帰りを心配する親の気持ちを考えよう。

【編集子】



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」1月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生籐工芸」
主催 野村ナナ子さん 12, 26日(木)
- (2) 販売実習(14日の土曜日)
 - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
 - ②「星野富弘美術館」取扱い商品
 - ③ 東北復興支援商品(海産物等)

平成二十九年を迎えて

新年を迎えるにあたり、生徒の皆さんから今年の抱負をいただきました。それぞれにとってよき一年となりますように……



3J3 佐藤 結真

(前橋桂萱中学校出身)

私はいつもとは違う気持ちで年明けを迎えました。それはこの三月で樹徳高校を卒業し、三月から社会人として働き始めるからです。入学当初から卒業後は就職しようと決めてはいたのですが、なかなか自分の進みたい道が見つからず、悩みながら三年生を迎えました。就職活動が始まり、いくつかの会社を訪問させていただき、悩んだ末、私はその中からプラスチック部品を製造する会社を志望し、無事、採用内定をいただくことができました。

入社後は研修期間が設けられており、学生だった私が会社で貢献できる人材になれるよう、教えて頂けるのです。しかし、この研修

期間は私の存在が会社に利益をもたらすわけではなく、むしろ会社にとって仕事の時間を割いて私を指導して下さる分、人的にも費用面でも負担となります。これらの事に感謝の心を持ち、一人前の社員として会社で貢献できるよう、精一杯頑張っていこうと思います。

樹徳生でいられる時間もあとわずかとなりました。家庭学習の期間を含め、卒業まで樹徳生としての自覚と誇りを持ち、さらに一層励んでいきたいと思えます。



2k 長谷川 奈央

(前橋木瀬中学校出身)

平成二十九年度が充実し、成長の一年となるように一年の目標を立て、行動

に移そうと思う。

学習面では、目標を達成するために何をすべきかを考え、試行錯誤をして、効率よく時間を使えるよう計画的に取り組みたい。また、日々の積み重ねを怠らず、伸び代のある教科や単元はより重点的に復習し、自己の学力向上に努めたいと思う。

部活動は、今の環境で部活動に取り組めることに感謝し、音楽を楽しんで練習に励んでいきたいと思う。今週は〇〇を出来るようにしようと、具体的な目標を定める事で、より集中して限られた練習時間を密度の濃い時間にした。

生活面に関しては、笑顔溢れる毎日を過ごせる一年にしたいと思う。私を支えて下さる多くの方々に大切にし、人の長所をよりたくさん見つけられるような人になりたい。また、視野を広く持ち、新しい事へ挑戦する機会を増やしたいと思う。

勉強に部活にと、やりたい事が増えると思う。壁にこなそうとこたわれば精神的に厳しい面もあるだろう。しかし、自分がやりたくて

やらせていただいている事なので妥協せず、誠実な態度で取り組みたい。樹徳高校に入学し、良い影響を与えてくれる多くの人の出会いのおかげで私は変わった。良き手本となる人に囲まれて良い刺激を受けながら、物事一つ一つに真剣に取り組む、少しずつでも成長していきたい。



1SS 田中 沙季

(前橋南橋中学校出身)

昨年の四月から高校生活が始まり、中学時代との違いに私は少し戸惑いました。高校では自分から行動しなくては何も始まりません。これは何に対しても当てはまる事だと思っています。そこで今年は学力向上に向けて、親や先生に喚起されてではなく、普段から自分で進んで勉強をしたいと思っています。しかし、気が緩んではは実行することは出来ません。そのため私は今年、「初心忘るべからず」を motto に勉強に励み、少しでも学力が向上出来るよう

に励みたいと思います。そして今はまだ到底及ばない第一志望の大学合格を目指し、仲間と共に高め合っていきたいと思っています。

また、勉強だけではなく学校行事にもしっかりと取り組み、楽しみたいと思います。昨年の合唱コンクールでは準優勝をすることができ、月影祭でのクラス企画も成功させることが出来ました。これは全力でクラスメイトや先輩方たちと協力して取り組めたからこそ出来た事です。そこで、今年も全力で楽しめよう、手を抜く事なく勉強と両立して取り組んでいきたいと思っています。

今年は高校生活にも慣れ、最も気が緩みやすい時期になるかもしれません。しかし、「初心忘るべからず」という言葉をしっかりと胸に刻み、勉強にも学校行事にも全力で取り組めるような自分でいられるよう頑張ります。



講堂での試験の様子

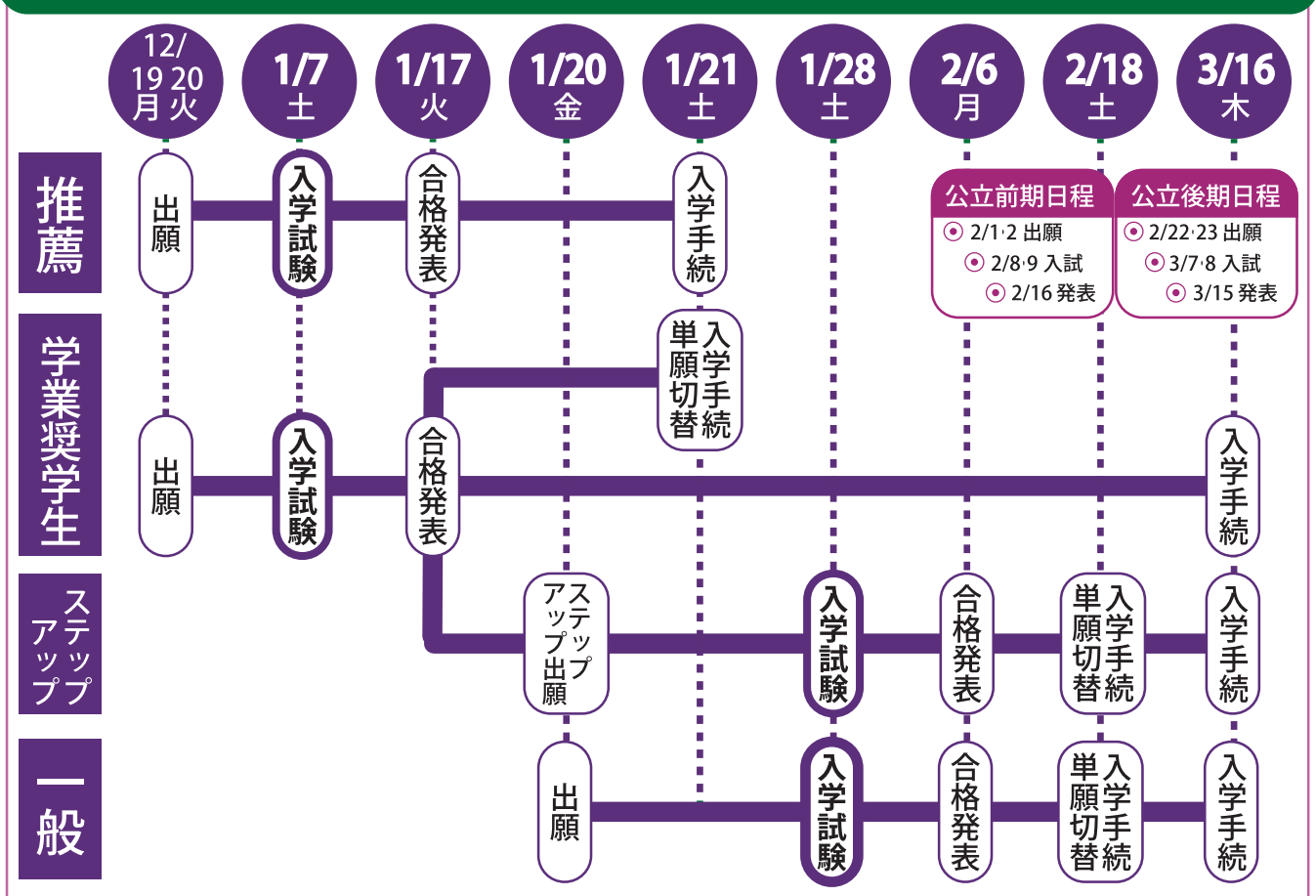


樹徳高校の入学試験は、受験者数の多さと会場の大きさで、人々によく知られています。今季もまた、中学生たちの真剣な眼差しと鉛筆を走らせる音が、校内を埋めつくす音が近づいてきました。

平成二十九年入学試験の皮切りとなる一月七日の『推薦入試』『学業奨学生入試』に挑戦する中学生は三五〇〇名程度。受験生の皆さんが全力を出し切り、嬉しい結果を手にできるよう祈っています。

平成29年度入試がいよいよ始まります

●入試関連スケジュール



一貫校

中学校

だより

◆歴史の学習

みなさんは、社会科の歴史というと即暗記の教科と思ひ込んでいませんか。確かに歴史学習では、時間（世紀、年代、月）の中で多くの人物が登場し、また事件があり、歴史事象の前後を判別するのは容易なことではないでしょう。膨大な量に圧倒され、覚えられず、歴史が嫌いになっていく生徒もいるかと思ひます。

出し、系統づけ、まとめ挙げてつくった過去の世界です。後者は書かれた世界という意味があります。みなさんが学んでいるのは後者の歴史です。実験・検証により普遍的な真理となる自然科学とは異なり、過去の事実の解釈に違いが生じます。しかし、解釈が一様ではないことが歴史学習の面白さと言えます。

E・H・カーという著名な歴史家は「歴史とは現在と過去との対話である」との名言を残しています。過去の事実は、それぞれ固有の意味を持つており、絶えずわたくしたちに語りかけ、応答しようとしています。しかし、現在を生きる私たちが過去の事実からの呼びかけを聞き分け、関連づけようとしないうちに、過去の事実が単に存在するだけで歴史に向き合う姿勢が問われているのです。今を生きる人間が、社会の中で、どのような課題に直面しているかを考えているかどうか、が求められています。日々の生活の中で、問題意識と

問ひかけがあると、歴史というものがもっと身近なものとなります。そうした姿勢で臨むとそれぞれの問ひにに応じて、過去の事実との間に対話がなされ実に多くの示唆を得ることができま

（顧問 齋藤哲也）

◆イギリス語学研修

十一月十七日から七日間イギリス語学研修に行ってきました。現地校訪問では、書道や着物・けん玉などの日本文化を紹介しました。特に喜んでもらえたのは女子全員で披露したソーラン節でした。イギリスの生徒も一緒に踊り、大変盛り上がりしました。ホームステイ先では、ホストファミリーの方に家族のように暖かく迎え入れてもらい毎日楽しく過ごすことができました。食文化など日本と違う

ことが多く、戸惑う場面もありましたが、思い切つて異国の文化に飛び込んで行くことで多くの事を感じ、学ぶことができました。今回の研修を通して感じたことはまず語学力が全く足りないということです。自分の意思を伝えられないもどかしさの不勉強であつたことを痛感しました。そして何より感じたのが日本という国のありがたさ、家族の大切さ、両親の日々の苦労です。普段当たり前にやっていたことが当たり前ではなくな



り、とても恵まれていてありがたいことであると思ひました。今回の研修を通して日々の生活に感謝の気持ちをもち、卒業までに一回りも二回りも大きくなった姿を見せられるように努力したいと思ひます。

三年二組 赤坂 匠



◆樹徳中学校第2期入学試験 平成29年1月14日（土）

出願期間 平成29年1月5日～1月10日

◆樹徳中学校第3期入学試験 平成29年2月4日（土）

出願期間 平成29年1月31日～2月2日

お問い合わせ TEL 0277-45-2257

幼稚園だより

新しい年のスタート

新年明けましておめでとうございます。一年の始め、凛とした空気の中で始業式を迎え、三学期のスタートを切りました。

子どもたちはどんな初夢を見たのでしょうか？「一富士二鷹三茄子」と言いますが、きっと素敵な夢を見たことと思います。それぞれの夢を大切に、「今年一年がよい年でありますように！」。そして、子どもたちの笑顔が輝き、元気で健やかな成長を、しっかりと支援していきたいと思えます。

今年もどうぞよろしくお願いたします。

「発表会の成果を！」

三学期へ

十二月十七日(土)に例年一月に実施していた「なかよし発表会」を、中央公民館ホールで開催いたしました。



なかよし発表会・年少

した。行事が集中する十二月にあつて、他の行事と並行しながらの練習は大変でしたが、本番が近づくにつれ、子どもたちは、自分の役割の理解とともに、練習に集中し、意欲的に取り組む姿から、不安は期待へと変わりました。

そして、迎えた本番では、子どもらしく元気いっぱい堂々と発表し、見る人に感動を届けられたのだと思います。

年少さんの劇遊び「りすさんの誕生日」では、小さ

い子(満三才児)の手を引きながらの演技に、大きな拍手が起こり、とっても微笑ましい雰囲気となりました。タンブリン・鈴をたたきながら、大きな声で力一杯発表した合奏や歌「サンタはいまごろ・おもちゃのチャチャチャ」は、自分を思いっきり表現することができました。

年中さんは、劇遊び「おむすびころりん」に挑戦し、穴に落ちるシーンなどで、ユーモアたっぷり、会場の暖かい笑いを誘いました。合奏「ジングルベル」では、初めてのピアノ力を披露し、しっかりと楽しそうに演奏することができました。

年長さんは最後の発表会。オペレッタ「くるみ割り人形」は、衣装もかっこよく、一人一人が役になりきり、踊りも素敵でした。歌・合奏では、タンブリン・カスタネット・鈴がぴたりと合い、聞き惚れてしまうほどでした。また、長靴を履いての合唱「ゆきつてながぐつすきだつて」や、最後の「思い出のアルバム」では、小学校への決意を述べ



なかよし発表会・年中年長

べるなど、その成長した姿から寂しさも感じましたが、期待が大きく膨らみ、多くの皆さんが感動したのではと思います。年少さん、年中さん、年長さんとも、歌・合奏・演技に、今ある力を精一杯発揮し、大きな成果を上げた「なかよし発表会」となりました。

前日準備や当日の運営に、ご協力いただきました役員・保護者の皆様はじめ、ご声援いただきましたご来場の関係皆様、心より感謝とお礼申し上げます。ありがとうございました。

三学期はまとめの学期、一人ひとりを大切に、未来を生きる子どもたちの教育に、全力で取り組んでまいります。

「今年の干支は酉」

ニワトリはいいことを運ぶよいトリと信じられ、「取り込む」という意味から、商売している方には大変喜ばれるとともに、時代を先取る力があり、時を知らせる生き物として重宝がられています。新制度や募集等、幼稚園には課題もありますが、酉年にちなんで、いいことをたくさん取り込めるよう、教職員一同、今年も全力で頑張りたいと思えます。

幼稚園長 瀬谷 茂

『入園願書受付』

○四月入園の三才児・満三歳児(二才児含む)の入園願書を受け付けております。

○預かり保育も、午後六時三〇分までと充実しております。安心して預けください。

また、いつでも見学でき、お子さんと遊ぶこともできます。子どもさんと一緒に出かけください。

○詳細はホームページまたは電話でお問い合わせください。

0277-53-5571

<http://www.jufoku.ed.jp/kinder>

1月(持戒)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	日	元日		
2	月	振替休日		
3	火	職員休暇		
4	水	振替休日(1/7)		仕事始め
5	木	推薦・学奨入試打合せ会議 授業料納入日	願書受付(～10日)	始業準備
6	金	始業式 大掃除 入試会場作成	始業式	始業準備・園内研修
7	土	推薦・学奨入学試験		
8	日			
9	月	成人の日		
10	火	学奨入試審査会 大学入試センター試験出陣式		第3学期始業式 園内清掃(年長保護者)
11	水	推薦入試審査会 マイトリー基金抛金日 校内書き初め大会 センター試験直前演習(～12日)		英語(全)文字と数(年長)
12	木	鏡開き		体育(全)文字と数(年中)
13	金	漢字検定③	ミニマナーアップ運動	
14	土	1・2年進研模試③ 大学入試センター試験(～15日)	中学校第二期入試	
15	日			
16	月	LHR 大学入試センター試験自己採点	お役に立とう週間⑤(～22日)	リズム(全)線(年少)
17	火	推薦・学奨入試合格発表日	入試合格発表	
18	水	ITS研修④	入学手続き(～20日)	英語(全)文字と数(年長)
19	木			「お誕生会」(12・1月生まれ)
20	金	一般入試願書受付日	英語検定③(4～5級)	臨時休園 群私幼教職員冬季研修会(伊勢崎市民文化会館)
21	土	英語検定③一次 第1回入学手続き(9:00～) 職員出勤日	中学校入学説明会① 英語検定③(2～3級)	
22	日	全商簿記検定②		
23	月	卒業試験(～26日)		リズム(全)線(年少)
24	火	1・2年中間試験(～26日)	中間試験(～25日)	読み聞かせ(西山先生)
25	水	法然上人忌		お茶のお稽古 英語(全)文字と数(年長)
26	木	3年生一斉指導		群馬県私学振興会 体育(全)文字と数(年中)
27	金	一般入試会場作成 大掃除 3年生自宅学習開始		母の会教養講座
28	土	一般入学試験	学力推移調査③(1・2年) 中学校範囲確認テスト(3年)	
29	日	一般入学試験採点 ペン字検定③ 全商情報処理検定		
30	月	振替休日(1/29)	振替休日(1/28)	リズム(全)線(年少)
31	火	一般入学試験審査会 出欠統計提出 女子制服アフターサービス	願書受付(～2/2)	

※ 6日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です。また、5日は授業料納入日です。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業株

夢は大きく 根はふかく